

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(平成29年度報告)

市町名: 安芸高田市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績						事業実施主体の評価
										被害金額			被害面積			
										目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	
安芸高田市有害鳥獣捕獲対策協議会	安芸高田市	①H27	イノシシ	特定外来生物捕獲講習会 捕獲活動	箱わな(大型獣用) 6台 箱わな(小型獣用) 25台 殺処分用機器 3台	安芸高田市有害 鳥獣捕獲対策協 議会	H30.3	100%	イノシシ	7,870	18,983	41%	7.4	3.4	218%	
		ニホンジカ	11,720						3,653	321%	11.8	7.4	159%			
		サル	80						28	286%	0.08	0.2	40%			
②H28	カラス	330	5	6600%	0.16	0.1	160%									
③H29	ヌートリア	60	46	130%	0.04	0.3	13%									

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(=基準年値-実績値)÷目標値(=基準年値-目標値)」であるとして算出してください。

2 第三者の意見

コメント者名: 広島県西部農林水産事務所 林務第一課 事業調整員 佐々木恵美子

コメント: 安芸高田市の農作物被害は、イノシシについては被害金額は高いままであり、特定の場所に被害が集中している可能性が考えられる。また、ニホンジカについては被害金額・面積共に目標値を達成しており、箱わなの導入による捕獲強化の効果が出ていると考えられる。

今後は、農作物被害対策として、被害をもたらす鳥獣の捕獲のみならず、鳥獣のエサとなる放任果樹や作物残渣の適切な処理、ひそみ場の除去などの環境改善にも積極的に取り組む必要がある。また、侵入防止柵についても、効果を維持できるように点検・管理に努めることが必要である。関係機関が実施する農家向けの研修等も活用し、地域住民に対して引き続き指導していくことが効果的である。

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。